

インバータ制御による3相交流モータ実験装置

3相モータ実験装置

KENTAC 3306

主要装備

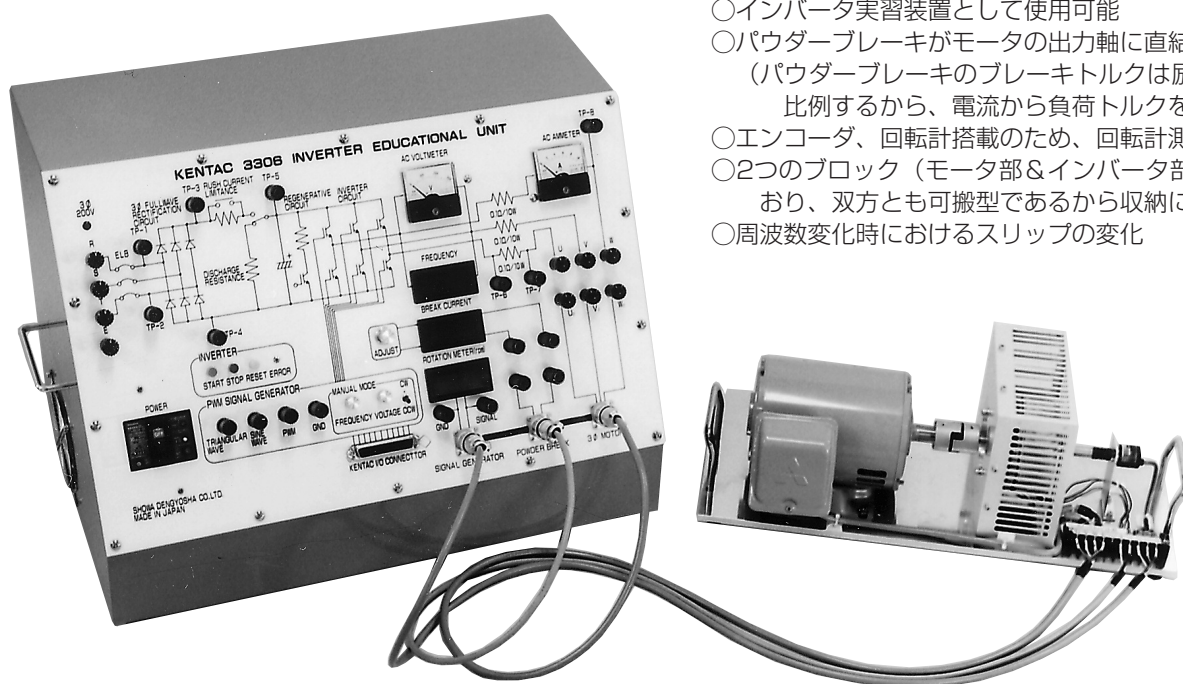
★2.2kWインバータ（IGBT使用）+PWM発生器
400W3相インダクションモータ+
パウダーブレーキ+エンコーダ（60ppr）

■ 実験項目

○モータの周波数変化による平行推移特性試験
ただし無負荷より最大トルク付近まで

■ 特 徴

- 手動ボリュームで周波数が設定可能
出力電圧が設定可能
- オプションのパソコンとI/Oボードを使用すると
周波数が設定可能
出力電圧が設定可能
- インバータ実習装置として使用可能
- パウダーブレーキがモータの出力軸に直結している
（パウダーブレーキのブレーキトルクは励磁電流にほぼ
比例するから、電流から負荷トルクを推定できる）
- エンコーダ、回転計搭載のため、回転計測が可能
- 2つのブロック（モータ部&インバータ部）に分かれて
おり、双方とも可搬型であるから収納に便利
- 周波数変化時におけるスリップの変化



■ システムの仕様

■インバータ 形 式 : KENTAC 3304 パワーデバイス : IGBTモジュール 最大負荷 : 3φ・200V・2.2kW以下のモータ 回生回路 : 付き(過電圧検出・回生抵抗60Ω)	■計測器 回転計 : デジタル式・0～1,999rpm ブレーキ電流計 : デジタル式・DC0～1.999A 周波数計 : デジタル式・5.0～199.9Hz 出力電圧計 : アナログ式・AC0～300V 出力電流計 : アナログ式・AC0～10A 整流型・60角
■PWMジェネレータ 形 式 : KENTAC 3308 3角波発生回路 : 1回路 正弦波発生回路 : ROM+8bitD/Aコンバータ	■標準3相モータ 出 力 : 0.4kW・4極 定格電流 : 2.08A/200V・50Hz 定格回転速度 : 1410rpm/200V・50Hz
■PWM発生回路 周波数設定回路 : 6bit (U/V/W相) 出力電圧設定範囲 : 10Hz～180Hz 入力電圧に対し0%～100% ※上記2項は手動ボリューム・パソコンI/Oより設定可能	■その他の仕様 電 源 : AC200V・50/60Hz 電源スイッチ : 漏電遮断機 DC電源部 : 突入電流防止回路付き
■パウダーブレーキ 定格トルク : 0.6Nm 電圧・電流 : 24V・1.2A 許容回転数 : 1800rpm	■寸 法 : 約630(W)×400(D)×460(H)
■エンコーダ 分解能 : 60P/R、 出力相 : A相	

※パソコンによる自動計測回路製作します（トルク計別置）